



プレスリリース 2006年12月14日:

国際青年環境 NGO A SEED JAPAN が金融業界に提言！
社会的責任投資 (SRI) ファンドの組入れ基準を明確化すべき

国際青年環境 NGO、A SEED JAPAN のエコ貯金プロジェクトでは、日本の SRI ファンドの組入れ企業を調査しました。結果、SRI ファンドは、原生林伐採、原子力発電、兵器製造などのネガティブな側面を十分に考慮していないことが明らかになりました。そこで、金融業界に対し、SRI ファンドの組入れ基準を明確化することを求める提言を行いました。

環境や社会に配慮した企業や、環境ビジネスに積極的に取り組む企業を主な投資先として組入れている投資信託「社会的責任投資 (SRI) ファンド」が急増しています。しかし、その組入れ先を見てみると、本当に環境や社会に配慮しているのか首を傾げたくなるような企業も少なくありません。そこで、国際青年環境 NGO、A SEED JAPAN のエコ貯金プロジェクトでは、現在、日本で販売されている SRI ファンドのうち、国内株式を主な投資先としている 16 のファンドを対象に、これらの SRI ファンドが、環境面、社会面、経済面でのネガティブな要素を持つ企業をどれだけ除外して運用しているかを調査しました。

その結果、多くの SRI ファンドで組入れられている企業 (例えば三菱商事、大和ハウス、コマツ、トヨタ自動車など) にもネガティブな要素は多く、SRI ファンドは、環境面・社会面・経済面でのネガティブな側面を持つ企業を除外対象としていないことが明らかになりました。

A SEED JAPAN は、SRI ファンドが市民から信頼され、経済的リターンと社会的リターンを求める個人投資家のニーズに応えるためには、SRI ファンドに組入れを行う際に、環境や社会面でのポジティブな側面だけを評価するのではなく、ネガティブな側面を除外していくことが必要だと考え、SRI ファンドを開発・運用する業界各社に対し、以下の点を提言しました。

1. **各SRIファンドは、どのような企業を組入れ、どのような企業を組入れないかという現状のスクリーニング基準を明確にするべきである。**
2. **さらに、各SRIファンドは、独自のネガティブスクリーニング基準を策定し、ネガティブな要素を持つ企業を運用対象から除外するべきである。**

なお、今回の提言について、エコプロダクツ 2006 のエコプレゼンテーションステージにて、12月16日 (土) 16:20 ~ に発表を行う予定です。

この件に関するお問い合わせ先:

A SEED JAPAN (担当: 鈴木、土谷、田辺)

〒160-0022 東京都新宿区新宿 5-4-23

TEL 03-5366-7484 FAX 03-3341-6030

E-mail: info@aseed.org

URL: <http://www.aseed.org/> (A SEED JAPAN)

<http://www.aseed.org/ecocho> (A SEED JAPANエコ貯金プロジェクト)

